



## 総領支所前を華やかに

花の植え替え・6/27

No.6

市役所総領支所の玄関前芝生スペースで、下領家自治会女性部の14人が花の植え替え作業を行いました。

本年も昨年と同様に、国営備北丘陵公園の齊木義伸さん指導の下、芝生スペースに設置しているアーチを彩るツルバラの手入れや、夏に向けて色とりどりの花を咲かせるランタナなどの植え替えを行いました。

昨年植えられた花は、女性部の皆さんの管理のおかげで、年間を通してきれいな花を咲かせ、多くの市民の皆さんに喜ばれていました。参加者は「季節によっていろいろな花を、皆さんに楽しんでもらいたい。剪定の仕方などを教えてもらったので、自宅も花いっぱいになりたい」と話しました。



▲齊木さん（中央）から剪定の説明を受ける参加者

## 地域の自然について知る

水辺教室・7/12

No.8

西城小学校で水辺教室が行われ、3年生21人が参加しました。

この教室は、西城川に生息する水生昆虫を調査することで、地域の自然を愛護する心と、環境に対する問題意識を養うことを目的に実施されています。

環境省登録環境カウンセラー市民部門の奥山秀輝さんを講師に迎え、西城川の成り立ちについて説明を受けたほか、事前に採集された水生昆虫などを利用し、種類ごとの分別や水生昆虫を指標にして西城川の水質を調べました。

児童は、砂の入ったトレーの中から昆虫を探し出し、講師に質問をし、西城川について理解を深めました。



▲水生昆虫について説明を受ける児童

## 災害に備えて

口和地区自主防災協議会の設立総会・6/28

No.5

口和地域の自主防災組織である「口和地区自主防災協議会」の設立総会が、口和自治振興センターで行われました。同協議会は、災害から住民を守ることを目的に、口和地域の消防団や民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、自治振興区、自治会が会員となり、連絡を密にすることで防災活動を推進します。

総会では設立趣旨、規約が承認された後、役員を選任が行われ、会長には口和自治振興区長の清水孝清さんが選任されました。清水会長は「当地域においても、災害に対応できる体制を築く必要がある。本年度、新たな防災マップを作成し、口和地域全体で防災活動に取り組んでいきたい」と話しました。



▲総会の様子

## 博物館創立70周年記念

特別展オープニングセレモニー・7/21

No.7

比和自然科学博物館の創立70周年を記念した、第85回特別展が始まり、開催に先立ってオープニングセレモニーが行われました。

今回の特別展は、同博物館の活動には欠かせない存在である比婆山連峰での、植物や昆虫の調査成果や、市民の皆さんから寄せられた情報などによる新たな発見をまとめ、「比婆山連峰の生物多様性」と題して開催されています。

セレモニーであいさつを行った進藤眞基館長は「新種の昆虫や県初発見の植物など、比婆山連峰の貴重な動植物たちの情報をまとめて見ることができるといい機会なので、ぜひ多くの人に来館してほしい」と話しました。



▲セレモニー後に行われた展示解説の様子

## 色とりどりの花を植えて

寄せ植え体験教室・7/6

No.2

口和健康づくりの会が、口和総合運動公園で「寄せ植え体験教室」を開催し、21人が参加しました。

国営備北丘陵公園の齊木義伸さんを講師に迎え、使用する花の特徴、植え方、手入れの仕方などについて学びました。

その後、参加者はマリーゴールドやペチュニア、コリウスといった季節の花苗、15種の中からそれぞれ7点を選び、色のグラデーションや花の大きさなどバランスを見ながら思い思いの寄せ植えを作りました。

参加者は「講師から直接植えるコツを教わることができるので、毎年この体験教室を楽しみにしている。会員と仲良く話しながら作業ができた」と話しました。



▲寄せ植えを作る参加者

## 災害から命を守るため

避難所設置訓練・6/29

No.4

庄原市民会館・庄原自治振興センターで「避難所設置訓練」が実施されました。この訓練は、庄原自治振興区自主防災本部と市が連携し、令和元年度から実施しており、昨年に続き、本年も新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた訓練を行いました。

滞在スペースの開設訓練では、避難者同士の十分な距離を確保するため、間隔を空けてパーテーションを設置しました。また、避難者の受け付け訓練では、熱の症状がある避難者を専用スペースへ誘導する方法など、避難所運営の手順を確認しました。

参加者は「市内でも感染者が確認され、問題意識が高まっている中、感染症対策の徹底と避難所運営の両立が重要だと感じた」と話しました。



▲パーテーション設置の様子

## 東城市街地の活性化へ

生け花教室・絵手紙の作品展

No.1

東城町の「三楽荘」と「東城まちなか交流施設えびす」でワークショップや作品展が開催されました。

「三楽荘」では、7月10日に「庄原市文化協会東城支部伝統文化子供教室」によるワークショップが開催され、子どもたちは生け花体験を楽しんでいました。また、体験終了後には同施設で作品の展示が行われました。

「東城まちなか交流施設えびす」では、7月12日から30日までの開館日に、東城地域で活動している「東城絵手紙教室」による絵手紙の作品展が開催されました。

今後も市街地ではワークショップや展示が行われる予定です。



▲三楽荘で生け花体験を楽しむ子どもたち

## 高野の魅力をご紹介

たかの体験「りんご塾」・7/3

No.3

下高自治振興区は、高野地域を好きになってもらい、交流・定住人口を増やすことを目指して、たかの体験「りんご塾」を年4回開催しています。この日は、県内の7家族18人が参加しました。

参加者は、高野町下門田の島津宏さんの畑でリンゴの摘果作業を見学し、収穫までに必要な手入れについて説明を受けました。その後、高野町中門田の熊川和幸さんの畑に移動し、ブルーベリー狩りを体験。食べ頃を迎えた果実を、次々と頬張っていました。

島津さんは「りんご塾は、何度も参加いただいているリピーターもいます。次回は10月にリンゴ収穫体験を計画しているので、多くの人に来ていただきたい」と話しました。



▲ブルーベリーの収穫方法について説明を聞く参加者（左）